



勝山審議会長へ諮問する町長

申本町の今後10年間のまちづくりの方向性を示す「第二次申本町長期総合計画」の第一回審議会が、6月7日、申本町役場にて行われ、田嶋町長から勝山高嘉審議会長へ計画について諮問しました。

町長は、あいさつで町内の中学2年生、高校2年生を対象に実施したアンケート調査について「申本町の将来像を作るにあたり、参考に審議していただければ。」と述べました。

審議会では、申本町の合併後10

## 今後10年間の申本を考える

### 長期総合計画策定審議会

年間（平成18〜27年度）の計画である「第一次申本町長期総合計画」を振り返りながら「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を参考に、次期計画について検討していきます。

8月開催の第二回審議会では、5月に行った町民1000人を対象にしたアンケート調査の結果や町の現状を踏まえ、中長期的、全体的な観点から審議をする予定です。



審議会の様子



町長に募金を手渡す生徒会委員

5月27日、潮岬中学生徒会の4名が、熊本地震への募金を田嶋町長に手渡すため、申本町役場を訪れました。

生徒たちは、テレビ等で熊本地震の様子を見て、自分たちにも何かできることがないかと自主的に募金活動を始めました。

募金活動の主な場所は、昼休みや放課後の教室。また、5月15日に行われた潮岬中学校の体育祭では、来場した方々にも広く協力をお願いしたとのことでした。

## 自分たちができることを

### 潮岬中学校の生徒が熊本へ募金



望楼の芝の顕彰碑前にて子孫ら一行

戦前にオーストラリアの木曜島に渡り、真珠貝ダイバーとして活躍した藤井富太郎氏（有田出身）の子孫らが、6月9日、申本町を訪れました。

一行は、藤井氏の生涯を描いた「最後の真珠貝ダイバー 藤井富太郎」（リンダ・マイリー著、時事通信社）の出版記念報告会へ出席したほか、藤井家のお墓や潮岬の高松寺にある慰霊碑を訪ね、潮岬望楼の芝にある休憩所での木曜島の展示を見学しました。

## 亡父の故郷を訪ねる

### 藤井富太郎氏の子孫ら



設備の使い方の説明を受ける住民の方々と町長

5月19日、申本町津波避難ビルに指定されているNTT西日本本別館で、非常用電話設備の使い方についての住民向け説明会が行われました。

電話設備とは、災害時に限り、電源を入れれば無料で使える特設公衆電話と、無料で利用できる無線LAN（Wi-Fi）です。

特設公衆電話は発信専用。ビル内に交換機やバッテリーがあるため、停電時でも使えます。Wi-Fiは、パスワードなしでイン

## 避難ビルに非常用電話を設置

### NTT西日本和歌山支店が住民向け説明会を開催

ターネットに接続できます。これらの設備は、ビル最上階（5階、海抜高度約20m）の西南側にある一室に据えられています。

和歌山支店の松浦一彦企画総務部長は「災害時における通信の確保は特に重要と考え、設置しました。」と話し、説明会に出席した田嶋町長は「今回設置していただいた電話を使うことのないよう祈りますが、災害時には有効に活用させていただきます。」と述べました。



非常用電話が設置された避難ビル(申本1894番地)



町長とシアトル紀州クラブの皆さん

5月14日、米国シアトル在住の和歌山県出身者の子孫らでつくる「シアトル紀州クラブ」の一行が、申本町檜野の日米修交記念館を訪れました。

同クラブは1905年に結成し、現在約100人の会員が所属しています。

今回の訪問は、昨年、クラブ創立110周年記念式典に仁坂吉伸知事が出席したことへの感謝の気持ちを込めての来県。また、申本町へは、米国商船「レイデイ・ワ

## シアトル紀州クラブ一行が来町

### 日米修交記念館など訪問

「シントン号」の申本来航から今年で225周年を迎える節目の年であることもあり訪れたものです。

両親が申本出身の佐々木タツエ会長は、レイデイ・ワシントン号の復元船を建造した歴史協会から託された手紙を紹介。「この記念館が日米友好の基礎として続いていることが嬉しいです。」との内容を読み上げ、記念のメダルや申本来航を題材にした英語版の漫画などを田嶋町長に手渡しました。



町長に記念のメダルを手渡す佐々木会長（右）